

## 【23\_209思考系メルマガ】『トレード』と『ハンター』の思考

〇〇さん

こんにちは、クロです。

トレードというのは、本当に特殊な仕事だなと思うのですが

何か別の業種に例えると何か？と問われたら、僕はいつも『職人』的なものとあてはめて考えることが多いです。

その中でも僕が個人的に気に入っている例えをひとつご紹介しようと思います。

ズバリ、その例えとは『ハンター(獵師)』です。

僕の中ではトレードというのは

- ・自分が勝負すべきフィールドを決める(通貨ペアの選択、目線の固定)
- ・過去の検証結果を基に、『この動きが来たら、仕掛ける』というセットアップを決めている
- ・トリガーとなる動きが出てきたら、その時に躊躇せずエントリーする

この手順を一貫して行う事がすべてであると考えています。

決して、入ったら絶対勝てるエントリーポイントを探すのでもなければ、先の値動きを当てに行くのでもない。

すべて『一貫した行動による結果の積み重ね』で利益を残さなくてはいけない。

だからこそ、「個々の結果」に注目するのではなく『個々の丁寧な行動(一貫性)』が重要になります。

それを職業的に実践しているのが、いわゆる職業としての『ハンター(獵師)』だと思ったわけです。

最近読んでいるマンガで、面白く、かつトレーダーとしての自分と色々重ねて考えてしまうものがあるのでご紹介します。

▼(マンガ)クマ撃ちの女▼

<https://kuragebunch.com/episode/10834108156642874621>

気に入った人は、是非書籍を買って読んでほしいです(一ファンとして応援の気持ち込めて 笑)

自分の射程圏に入る(例えば僕なら、待ち伏せている目線に沿ってMAのセットアップが完成すること)時

そこから更に照準を合わせて(セットアップ⇒トリガーの確認)撃つ。

それまではじっと待っている。

ターゲットを探す手がかり(環境認識)を的確に行うための経験の積み重ねと検証。

下手に撃てば逆に自分が襲われる状況だからこそ、自分にとってのベストで引き金を引くという行為を繰り返し行う事が

僕は銃を撃ったことは無いですが(笑)狩猟のそれと意識として共通するものも多いように思います。

とにかくその前の準備であったり、待つ作業というものが単調であり、退屈であり、面白くないと感じるものです。

ですがその1頭の獲物を授かるために、ハンターは全力を注ぎます。

僕のトレードの在り姿も、是非そのようでありたいと思うし

これがしっかりできるようになったトレーダーは、きっと見てくれの華やかさなどとは全然違う

『カッコいい仕事師』と言えるのではないのでしょうか。